

● 棟の積み直し工事

既存の瓦を再利用して、棟を積み直す作業

※銅線葺きも釘止めの瓦も作業概要は同じです。



棟の下の瓦は通常さわれないので、この機会に、下地などもしっかり補修し、瓦も葺き直します。



他にも緩んでいる箇所はしばり直します。



棟金具

冠瓦を固定する芯木を取り付ける金具を取り付け、のし瓦には緊結用の銅線を縛ります。



棟土が水を吸い上げないように、面戸瓦の間に瓦のかけらを敷き詰め、芯木を取り付けます。



人工木材
漆喰(黒)
棟土(なんばん)

人工樹脂製の芯木を取り付け、棟部分の土台が完成しました。



棟土は硬化剤が入っており、冬季には不凍液も入ります。



のし瓦同士を緊結して、交互に積み重ねていきます。



冠瓦を芯木にビス止め固定し、使用しなくなった銅線用の孔は、コーキングで塞ぎます。



瓦屋根には、長い経験で培われた知恵と工夫が込められています。これからも瓦屋根は皆さまを守り続けます。



きのえ
有限会社 甲瓦工業

一級かわらふき技能士 瓦屋根工事技士 在籍

砺波市五郎丸502-1 TEL 0763-33-2719 / FAX 33-1006

携帯電話 090-3766-9494(担当 中谷)
info@kinoekawara.com



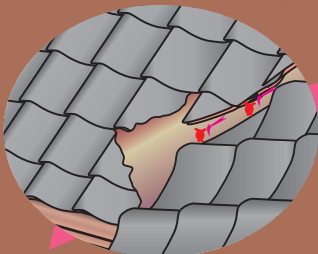
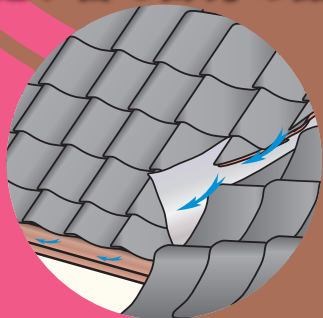
どんな些細な事でもお気軽にご相談ください。

住まいの安心のために

屋根の点検 お申し付けください

現在雨漏りが無い屋根も、プロの目で点検と診断をいたします。
早期点検・早期対応で、これからも安心な暮らしをお届けします

雨樋や谷の部分の詰まり



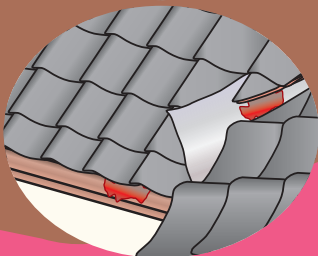
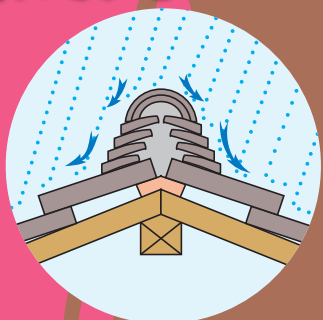
谷部分の銅板の腐食

銅製のもは腐食しやすいので、ステンレス製への交換をお勧めします。

雨樋や谷の部分の詰まり

屋敷林の落葉などが堆積して、水通りが悪くなっていることも多くあります。特に谷や雨樋の部分は、常に流れを良くしておく事をお勧めします。

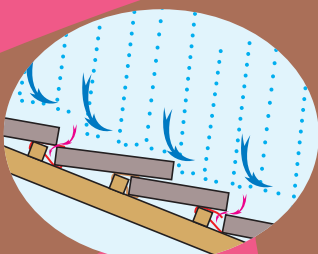
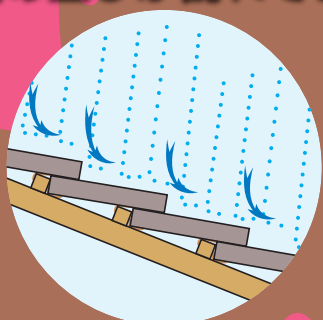
屋根の尾根(棟)部分が乱れている



棟部分の瓦の緩み

長い年月を経て中の棟土が流失したり痩せたりして、瓦が緩んだり適切な勾配が取れなくなってしまっている場合が大変多くみられます。

瓦の並びが乱れている



瓦のズレ・隙間

銅線で緊結してある瓦の場合、長年の劣化によって銅線が伸びたり切れたりして瓦がずれ、隙間から雨漏りする原因となる場合があります。

下地の傷み・落込み

屋根の下地が傷み、瓦が落ち込むことによって雨水が逆流し、雨漏りの原因になることがあります。

無料で屋根の**点検**や**お見積り**いたします。
些細な事も、お気軽にご相談ください。



きのえ
有限会社 甲瓦工業

一級かわらふき技能士 瓦屋根工事技士 在籍

砺波市五郎丸502-1 TEL 0763-33-2719 / FAX 33-1006

お庭で邪魔になった古瓦の処分なども承ります。 携帯電話 090-3766-9494 (担当 中谷)
info@kinoekawara.com

実際の事例

ほんの僅かな雨漏りでも、長い間放置すると大きな修理が必要になります。

